



HANWA

PRESS RELEASE

阪和興業株式会社

〒104-8429 東京都中央区築地一丁目13番1号

2021年7月12日

阪和興業株式会社

インドネシア徳信鋼鉄有限公司 スラブ製造開始の件

阪和興業株式会社（以下、当社）が10%出資するインドネシア・スラウェシ島の徳信鋼鉄有限公司（以下 徳信鋼鉄）が、6月28日にスラブの連続鋳造を開始しました。これまでの製造品目であるビレット、線材、鉄筋に、新たにスラブが加わることにより、インドネシア国内及び海外向け輸出において、徳信鋼鉄品の市場競争力が更に強化されることが期待されます。

徳信鋼鉄は2020年3月に第1高炉を稼働させて以来、インドネシア国内及び海外輸出向けに主にビレット、線材等の販売を開始し、2021年2月には第2高炉も稼働して、2021年6月の粗鋼生産実績は約34万トン、ビレット販売は約30万トンとなっています。第2高炉は、スラブ用とビレット用の連続鋳造設備が併設されており、スラブの生産能力は最大で年間200万トンになります。

当初は高炉2基で年間粗鋼生産350万トンを計画していましたが、現在ではフル稼働の状態が続いており、通年で400万トン（粗鋼ベース換算）のレベルに達しており、2022年末を予定している第3高炉稼働時には、年間600万トンの生産能力になる計画です。

当社としましては、徳信鋼鉄のスラブ製造開始を受け、インドネシア国内外のユーザーへの拡販に一層注力し、第2の阪和として位置付けているアセアン地域において更なる発展を目指してまいります。

以 上

本件に関する問い合わせ先

阪和興業株式会社

東京本社 秘書室広報課

TEL 03-3544-2000

(参考資料)

【徳信鋼鉄有限公司の概要】

社名	徳信鋼鉄有限公司（英語名：PT DEXIN STEEL INDONESIA）
所在地	インドネシア共和国 中部スラウェシ州
設立	2017年8月
事業内容	高炉一貫普通鋼製造
生産能力	600万トン（第3高炉稼働時）
製品内容	ビレット、丸棒、線材、スラブ
稼働時期	第1高炉 2020年3月29日出銑 第2高炉 2021年2月4日出銑 第3高炉 2022年12月稼働予定

【スラブ製造の様相】

